

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-2-028
補助事業名 平成26年度障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業
補助事業者名 公益社団法人 東京ビルメンテナンス協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

当協会の有する知識、経験などのノウハウを活用して、主として障害を持った児童・生徒の自立と社会参加を目指す。

具体的には、日常生活における正しい清掃方法及び清掃資機材の取扱いの児童・生徒への指導、企業及び学校内における指導員の養成研修などの活動を通して、障害児(者)の自立支援・福祉の増進に対し寄与することを目的とする。

また、特に小中学生への指導においては、保護者の参加も呼び掛けるなど、清掃作業を通じた、親子のふれあいの場も提供する。

(2) 実施内容

(URL) <http://www.tokyo-bm.or.jp/syougaisya-jigyuu/index.html>

①都立特別支援学校児童・生徒に対する指導研修

ア. 知的障害を持った生徒が通う都立特別支援学校を巡回し、正しい清掃方法及び清掃資機材の取扱い方等を指導する研修を開催した。

・ 26年6月～12月まで……………10校に対して62回開催

イ. 都立知的障害特別支援学校等児童・生徒と保護者のふれあいを目的に、清掃体験親子教室を開催した。

・ 26年6月～12月まで……………7校において13回開催



②障害者清掃作業指導員養成研修

障害者が企業に勤めた際に、職場において早く定着するためには、現場で共に作業を行う指導員の果たす役割が重要となる。また、特別支援学校では、清掃作業についての作業学習が行われているが、専門に指導できる教員の確保が急務で

ある。こうした背景から、清掃作業の基本を習得し、かつ障害者との接し方や対応方法を学ぶ指導員養成研修を開催した。

- ・ 26年6月～12月まで……………2か所で5回開催



③障害者就労推進のPR

ア. ビルメンテナンス業界において障害者雇用を進めるためには、法律的な要請や企業の社会的責任はもちろんであるが、経営者層への啓発活動は重要なテーマである。

今年は、当協会が平成22年度から25年度まで東京都から受託していた知的障害者の雇用実地調査で得られた知見を発表すると共に、実地調査を通して共に働いてきた現場指導員、障害を持った従業員の方をパネリストとしてお招きし、実体験に基づいたお話を発表し、他社での参考としていただく催しとして開催した。

- ・ 11月12日 障害者就労支援セミナー／パネルディスカッション
演題「清掃現場での障害者雇用事例とその工夫」
ビルメンテナンスフェアTOKYO 2014内の催事として
東京都立産業貿易センター浜松町館において開催



イ. 全国障害者技能競技大会は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が、障害者が技能労働者として社会に参加できる自信と誇りが持てるように、その職業能力の向上を図るとともに、広く障害者の職業能力に対する社会の理解と認識を深め、その雇用の促進などを図ることを目的として、毎年開催している職業技能を競う大会である。東京地区でも、ビルクリーニング種目が開催されているため、視察員を派遣し雇用拡充に向けた調査を行った。

(別紙5)

- ・ 11月21日～23日
愛知県名古屋市港区（ポートメッセ名古屋）において開催



2 予想される事業実施効果

過去6年間に本事業において蓄積した知識や経験を生かしながら事業を実施してきたが、特別支援学校の生徒は、清掃のプロから直接指導を受けることで、プロの技術を目の当たりにし、モチベーションを高く持って授業に取り組んでいる。また、プロの技術を身に付けることにより、就労のチャンスも益々増えてくることが期待される。

清掃体験親子教室では、保護者も日ごろの清掃方法について点検できると共に、ダイニングテーブル拭きや掃除機掛けを子供に任せるなど、自宅でのお手伝いを通して親子の会話が生まれ、コミュニケーションツールとしても役立っている。

指導員の育成においては、今後の社会動向や法改正などに鑑み、効率的に上記事業を行うことで、企業内において障害者に対して清掃作業を指導できる「専門指導員」が増員され、受入れ環境が整うことで企業の採用意欲の向上が期待される。

学校現場においては、清掃作業を熟知し指導できる教員が増えて来ることで、在学中から職業人としてのスキルの積み上げが可能となり、卒業後もスムーズな就職、定着へとつながって行くことが期待される。

3 本事業により作成した印刷物

「無し」

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益社団法人 東京ビルメンテナンス協会
(コウエキシャダンハウジントウキョウビルメンテナンスキョウカイ)
住所： 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5丁目12番5号
代表者： 会長 佐々木 浩二 (ササキ コウジ)
担当部署： 事務局 (ジムキョク)
担当者名： 管理課課長補佐 内山 典彦 (ウチヤマ ノリヒコ)
電話番号： 03-3805-7555
F A X： 03-3805-7550
E - m a i l： 18@tokyo-bm.or.jp